



長岡赤十字病院

長岡市千秋2丁目297-1

電話 0258-28-3600

ホームページアドレス

<http://www.nagaoka.jrc.or.jp/>

【基本理念】私たちは命と健康に向き合うことを医療の原点とします。

高気圧酸素治療について

医療技術部 臨床工学技術課 佐野 一樹

高気圧酸素治療とは、私たちが生活している大気圧より高い気圧で、高濃度の酸素を吸入することによって、さまざまな病気を治すことを目的に行われている治療です。

当院では通常の大気圧の2倍にあたる2気圧（水深10m程度の水压に相当します）まで圧力を上げて治療を行います。また、装置内の圧力を上げるために100%の酸素を使用するため、大気圧下の10～20倍もの酸素を血液中に取り込むことができます。

【高気圧酸素療法の主な治療効果】

- ・血液中に取り込まれた大量の酸素は血液により全身にくまなく運ばれ、低酸素状態に陥った組織の改善を図り、傷の治りも促進します。また、一酸化炭素などの有毒ガスを取り除きます。
- ・体内に大量の酸素を取り込むことにより、酸素のもつ抗菌作用で細菌繁殖を抑制します。
- ・高い気圧で一定時間過ごすことにより、体内に発生した気体が圧縮されて少なくなったり、血液中に溶解されることにより病気を改善させます。
- ・むくみを改善させます。

【高気圧酸素治療の実際】

当院の高気圧酸素治療装置は、第一種装置と呼ばれる一人用の治療装置で、透明なアクリル製の円筒

型の装置に担架に寝た状態で入ります。治療自体は100%の酸素で15分間をかけて1気圧から2気圧へと気圧を上げます。2気圧の状態では1時間過ごしていただいた後に15分間をかけて1気圧へ戻し、トータルで1時間30分程度かかります。長時間の治療に退屈された患者さんからのリクエストにお応えし、昨年より治療装置内でテレビを見ることが可能となりました。装置は透明ですので、常に外部を見ることができ、スタッフと会話をしたりもできます。もちろん寝ていただくことも可能であり、リラックスして治療時間をお過ごしいただいています。

【現況】

現在当院では年間で80～90名ほどの患者さん方が治療を受けられ、合計300～400回程度の治療を実施しています。当院における主な対象疾患は、腸閉塞、突発性難聴、一酸化炭素中毒ですが、適応は広くさまざまな病気やけがの治療に用いられます。治療は救急科の医師を筆頭に看護師・臨床工学技士・事務員で構成するチームを作り、担当医の監督のもとで関連学会の認定を受けた臨床工学技士が行い、より多くの方々に365日24時間実施できる体制で臨んでいます。新潟県内では高気圧酸素療法が実施可能な施設は4病院で、中越医療圏では当院のみであり今後さらに需要が高まるものと考えられます。



「薬の服用と車の運転」

道路交通法では、薬の影響等で正常な運転ができないおそれがある状態で車両の運転をすることを禁止しています。

薬によっては、運転の支障となるような、眠気、注意力の低下、眼のかすみやめまいなどを起こすことがあります。例として、かぜ薬、花粉症の薬、痛み止めの薬、目薬、点鼻薬などの一部がそれにあたります。

では、薬と車の運転の可否はどうしたらわかるのでしょうか？

・市販薬の場合

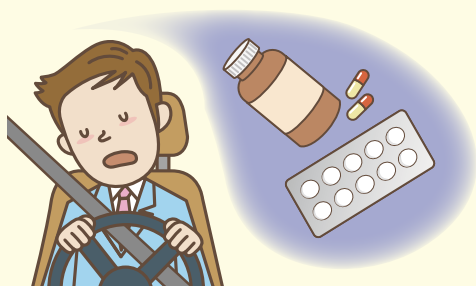
パッケージに記載されています

(要指導医薬品や第1類医薬品では薬剤師から注意があります)

・医師が処方する薬の場合

処方医や調剤した薬剤師から注意があります

(自分の判断で量を調節せず不安があれば必ず医師・薬剤師に相談してください)



いつも服用している薬でも、薬の影響は体調などにより強くあらわれたり、個人差があったりして予測しにくいものです。また、運転が禁止されていないまでも、注意が必要な薬もあります。

自分や周りの人たちのためにも、薬を服用しているときは、医師や薬剤師の指示を守った運転を心がけましょう。

薬剤師 佐藤

救護班要員任命式を行いました

4月10日(火)

日本赤十字社新潟県支部 桐生事務局長より、平成30年度救護班員に辞令が手渡されました。

1班8名編成で10班80名が任命され、今後也有事の際に備え訓練や研修などを実施し日赤救護班としての使命を果たします。



患者会からの お知らせ

- 4月21日(土) やよい会共催 乳がん市民公開講座
- 5月11日(金) がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」(フリートーク)
- 6月 1日(金) がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」(フリートーク)
- 6月 9日(土) 日赤千秋会 特別講演
- 7月 6日(金) がん患者サロン「ほほえみサロン千秋」(ミニ講話「がん治療と運動」)



詳しくは院内掲示のポスターまたは当院ホームページのお知らせをご覧ください。

ホームページのがんに関する情報検索「お役立ちサイト」が新しくなりましたのでご利用ください。